

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	広域的な水循環健全化推進調査経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信		
会計区分	一般会計		施策名	水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水資源の利用に当たっては、多大なエネルギー消費を伴う場合も少なくないため、地球温暖化の観点から、上下水道、農業用水、工業用水等の水循環に関係する分野における温室効果ガスの排出削減、省エネルギーにつながる方策について検討することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	総合的な水資源管理の考え方をもとに低炭素・省エネルギーの観点の取組みを導入した場合における、CO2排出量の削減効果やエネルギー使用量の低減効果について、モデル地域において試算を行った。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	18	17	10	9	9	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
	計	18	17	10	9	9		
	執行額	17	12	9				
執行率(%)	94%	71%	90%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	渇水影響度 (渇水による影響を、取水制限率と取水制限日数との積で表したものの)			%	7,259日・%	2,255日・%	4,833日・%	5,300日・% (23年時点の過去5年平均)
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査流域数				5	6	1	- (2)
単位当たりコスト	9 (9百万円/1流域)		算出根拠	実績額:22年度実績額9百万円 調査流域数:1流域				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1	0.1					
	委員等旅費	0.3	0.2					
	水資源対策調査費	9	9					
計	9	9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	水循環系の各分野において各々活発な取組がみられるが、より効果的に、低炭素化、さらに、省エネルギー、低コスト化を推進していくためには、水循環系に関わる多様な主体が連携して進めていくための方策について早急に検討・整理することが必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約手続きについては、競争性の高い(総合評価落札方式)により相手方を決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	総合的な水資源管理の考え方をもとに低炭素・省エネルギーの観点の取組みを導入した場合における、CO2排出量の削減効果やエネルギー使用量の低減効果について、モデル地域において試算を行った。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度の業務発注については、より競争性を高めた契約手続き(総合評価落札方式)を採用することにより、効率的・効果的に競争性を確保した予算執行を図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	引き続き予算の効率的な使用に努めるとともに、23年度の試算結果を活かして、CO2削減やエネルギー消費量削減に向け、効果的で実効性のある方策を提示すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	引き続き効率的な事業実施を図る。また、平成23年度の成果を活かしつつ、流域の規模等を考慮したCO2削減やエネルギー消費量削減に向け、効果的で実効性のあるよう調査内容を精査し、モデル地域における調査を実施。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	141	平成23年行政事業レビュー	195

※平成23年度実績を記入

国土交通省
9百万円

各業務の発注及び監督

【一般競争入札】

A. 民間企業(1社)
9百万円

広域的な流域における
健全な水循環系の構築
に関する調査検討業務

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.パシフィックコンサルタンツ株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接人件費	直接人件費	3			
直接経費	直接人件費	1			
その他原価	その他原価	2			
一般管理費等	一般管理費等	3			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ株式会社	広域的な流域における健全な水循環系の構築に関する調査検討業務	9	1	86.0
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					